

令和2年第4回（12月）山陽小野田市議会定例会

請 願 文 書 表

| 受 理 番 号 | 受 理 年 月 日 | 件 名 | 請願の主旨 | 請願者の住所及び氏名 | 紹介議員の氏名 | 付託委員会 |
|------------|----------------|------------------------|-----------------|--------------------------------|---------|---------------|
| 第2号 | 令和2年 10月29日 | 高泊地区における保育所の確保についての請願書 | 別添請願書 写しのとおり | 山陽小野田市大字西高泊 1942-1 浜田 朋子 | 藤岡 修美 | 民生福祉 常任委員会 |

令和 2 年 10 月 29 日

山陽小野田市議会議長 小野 泰 様

請願者代表

住所 山陽小野田市大字西高泊 1942-1

氏名 浜田 羽子

紹介議員

藤岡 修美

高泊地区における保育所の確保についての請願書

要旨

この度、高泊地区の唯一の保育所である西福寺保育園の責任者より、令和3年度をもって閉園予定であるとの説明がありました。西福寺保育園では60名の園児が伸び伸びと過ごし、成長過程に則した遊び、知育、食育や様々な活動など、保育士の先生方からきめ細かい保育を受けてきました。西福寺保育園には、二世帯、三世帯に渡り子どもを預けている家庭も多く、それだけ地域からの信頼が厚い保育園であったと言えます。卒園後は高泊小学校に入学する園児が過半数を占めていることから、小学校への入学も不安がなく、高泊地区にある保育所として約65年もの間、保護者にとって安心して子どもを預け、働きに出ることができる場所として存在し続けていました。しかし、その西福寺保育園が閉園することになれば、高泊地区に保育所はなくなり、私たちは最悪の場合、仕事を辞めて子どもを養育せざるを得ません。また、子育て世代の減少により高泊地区が衰退していく可能性があります。以上の事により、高泊地区に子どもを預ける場所として、保育所の新設も含め、保育所の確保を要望いたします。

理由

1. 高泊地区に保育所がなくなることより、在園児の受け入れ先を探すことが困難である。
2. 山陽小野田市内の他の保育所や幼稚園では、自宅や職場から遠方な為、保育時間内に子どもを迎えに行くことができない。
3. 転園可能な場合であっても、子どもたちは環境の変化に混乱し、在園年数が少ないことによって新たな保育所での生活に適応できないまま卒園することになる。
4. 子どもに慣れ親しんだ環境下において継続して保育を受けさせたい。
5. 高泊校区に保育所がない場合、同じ小学校に引き続き就学する園児が少なく、在園時に築いた園児同士の関係性の継続が困難である。

